

### 1 川崎市における高齢者の現状（平成26年10月1日現在）

#### (1) 高齢化率等

- 総人口：1,444,250人・・・A
- 65歳以上人口：269,609人・・・B
- 高齢化率：18.7% (B÷A) (参考) 全国：26.0%

#### (2) 要介護認定者数等

- 要介護認定者数：34,336人・・・C
- 内訳) 要介護1：10,082人(29.4%)
- 要介護2：7,927人(23.1%)
- 要介護3：5,782人(16.8%)
- 要介護4：5,642人(16.4%)
- 要介護5：4,903人(14.3%)
- 高齢者人口に占める要介護認定者数の割合：12.7% (C÷B)

### 3 「地域包括ケアシステム」の構築について

いわゆる団塊の世代が75歳に到達する2025年(平成37年)等、超高齢社会を見据え、「誰もが住み慣れた地域や本人が望む場で安心して暮らし続けられるよう」、また、特別養護老人ホームは「重度者向けの住まい」として機能を発揮するよう、地域の実情に応じた適切な「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組を推進するため、今年度内に「(仮称)川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」を策定します。

### 4 今後の特別養護老人ホームの整備等について

高齢者実態調査の結果からは、

半数以上の高齢者が、「介護が必要になった場合でも、自宅で暮らしたい」と希望しています。

一方で、自宅外を希望する高齢者の多くは、「家族に迷惑をかけたくない」、「家族の負担が大きい(要介護認定者)」を理由にあげています。

これらの回答から、高齢者の多くが、

「介護が必要になった場合でも、家族に負担をかけずに自宅で暮らしたい」と希望されていることが把握できます。

取組

#### 《在宅生活を支援する地域に密着した介護サービスの拡充》

- ・「小規模多機能型居宅介護」
- ⇒ 要介護者の状態に応じ「通い」、「訪問」、「泊まり」を組み合わせたサービス
- ・「複合型サービス」
- ⇒ 上記「小規模多機能型居宅介護」に「訪問看護」を組み合わせたサービス
- ・「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」
- ⇒ 24時間体制で、定期及び随時の訪問介護、看護を組み合わせたサービス

#### 《新たな総合計画の策定に向けて》

本市では、高齢者が元気なうちから介護予防に取り組むことによる健康寿命の延伸や、要介護度の維持・改善に対する適切な評価の仕組みにより、高齢者の幸福につながるよう「新たな総合計画」を策定する中で、地域密着型サービスの拡充や特別養護老人ホームの整備を含め、検討していきます。

### 2 特別養護老人ホームの整備状況（開所ベース）

本市では「かわさきいきいき長寿プラン」に基づき、「高齢者の多様な住まい方の構築」を目標とし、高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らしていけるよう、介護サービス基盤の整備を進めています。(現在、「第6期計画・かわさきいきいき長寿プラン」を策定中)

施設サービスにおいて中核的な施設である特別養護老人ホームは、入居を希望されている方が多い状況にあることから、平成20年11月に策定した「特別養護老人ホーム整備促進プラン」と併せ、本年3月末までの6年間で、概ね1,560床の整備促進を行いました。

施設種類	20年度末現在		第4期計画						第5期計画							
	20年度末現在		21年度開所数		22年度開所数		23年度開所数		24年度整備数		25年度整備数		26年度整備数(見込)		26年度末現在(見込)	
	箇所数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	整備数	定員	箇所数	定員	箇所数	定員
特別養護老人ホーム	33	2,578	0	8	4	378	3	238	0	0	6	613	6	497	52	4,312
うち、大規模特養	30	2,501	0	8	3	350	1	156	0	0	5	584	4	439	43	4,038
うち、小規模特養	3	77	0	0	1	28	2	82	0	0	1	29	2	58	9	274

※「大規模特養」：定員30人以上の特別養護老人ホーム 「小規模特養」：定員30人未満の特別養護老人ホーム

また、上記以外に、川崎区境町地区120床(28年度開所)、川崎区日進町地区120床程度(30年度以降開所)の整備を予定しています。(30年度時点の区別整備状況見込は以下のとおり)

	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	全市
要介護者数(A)	7,270	4,729	4,388	4,742	4,671	4,350	4,186	34,336
施設数	8	7	7	4	9	10	9	54
定員合計(B)	669	769	515	318	590	828	863	4,552
割合(B)÷(A)	9.2%	16.3%	11.7%	6.7%	12.6%	19.0%	20.6%	13.3%

#### 【整備用地についての考え方】

県有地の活用については、民有地と同様に取得又は借受に相当額の経費が必要となること、介護保険法に基づく施設基準を満たすために新たな整備が必要となること、また、特別養護老人ホームの整備用地の確保にあたっては、社会福祉法人が民有地を取得し整備する相談を複数受けている状況にあることから、今後も引き続き、各区の地域バランスを考慮しながら、民有地を活用した整備を基本に進めていきます。なお、現在、民有地を活用した特別養護老人ホーム(総床数280床程度)の応募を受け付けています。

## 定期借地権を利用した貸付けの実施について

神奈川県財産管理課作成

現下の厳しい財政状況を踏まえ、県が利用しない跡地の利活用は、収入確保の観点から、今後も、引き続き一義的には有償譲渡による処分を原則とするが、公的・公共的な利活用を求める社会的要請を背景として、新たに市町村支援の観点から定期借地権を利用した貸付けを実施することができるものとする。

基本的な取扱いは、以下のとおりとする。（詳細は、今後検討する。）

- 1 有償譲渡による財源確保の必要性との均衡を考慮して、一定の範囲内で適用することとし、具体的には次のとおり。
  - ア 対象（貸付け先の用途）は、保育所用地と特別養護老人ホームなどの介護保険施設用地とする。
  - イ 原則として24～26年度内で1市町村1件とする。
  - ウ 面積は、施設の建設及び運営に必要な標準面積とする。ただし、残地の利活用に支障が生じる場合は、この限りでない。
- 2 貸付先は、市町村とする。ただし、市町村が社会福祉法人等に転貸することは認める。
- 3 貸付料は、不動産鑑定評価額に基づき決定する。
- 4 貸付料の減額は、行わない。
- 5 建物譲渡特約付き借地権は、設定しない。

## 神奈川県警多摩警察署寺尾台公舎について

### 1 概 要

多摩警察署寺尾台公舎（世帯寮 64戸）

①所在地 川崎市多摩区寺尾台2丁目5番

②土地面積 4,253.39 m<sup>2</sup>

③建 物 (A 棟)

鉄筋コンクリート4階建て 延べ床面積1,214.00 m<sup>2</sup> 昭和46年築

(B 棟)

鉄筋コンクリート4階建て 延べ床面積1,133.40 m<sup>2</sup> 昭和47年築

(C 棟)

鉄筋コンクリート5階建て 延べ床面積1,010.88 m<sup>2</sup> 昭和47年築

(D 棟)

鉄筋コンクリート1階建て 延べ床面積 115.20 m<sup>2</sup> 昭和47年築

④用途地域 第一種低層住居専用地域 建ぺい率：40% 容積率：80%

⑤高度地区 第1種高度地区（建築物の高さの最高限度10m）

⑥所 有 者 神奈川県（警察本部多摩警察署所管）

### 2 これまでの経過

昭和46年 3月 寺尾台公舎（A棟）竣工

昭和47年 7月 寺尾台公舎（B・C・D棟）竣工

平成25年 11月 神奈川県から川崎市へ寺尾台公舎ほか県警宿舎の取得意向  
照会

平成26年 1月 川崎市から神奈川県へ寺尾台公舎について取得希望なしの  
旨回答

平成26年 3月 寺尾台公舎廃止

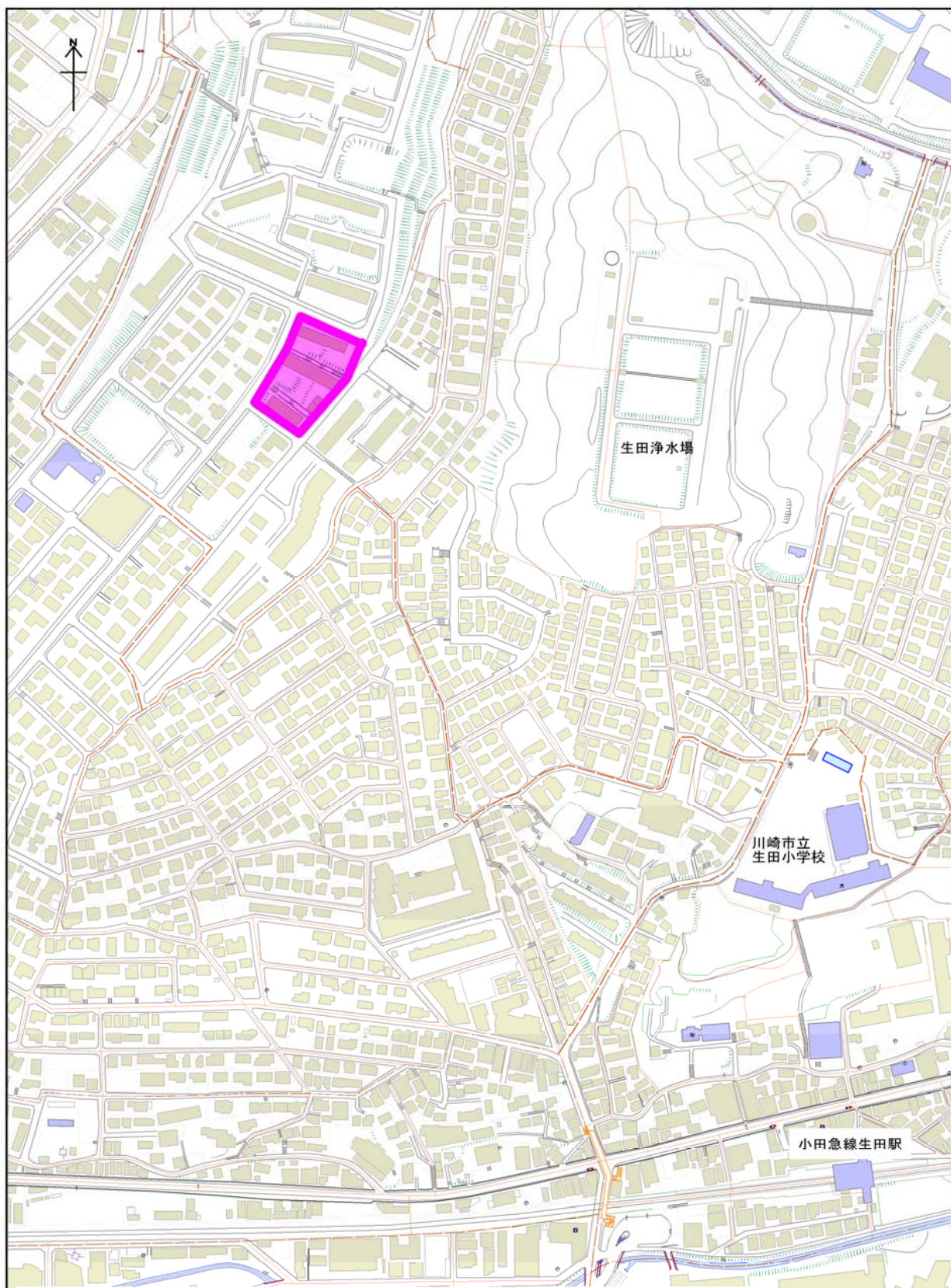
平成26年 9月 市議会議長あての請願第90号を受理

平成26年 10月 健康福祉委員会現地視察

# 神奈川県警多摩警察署寺尾台公舎

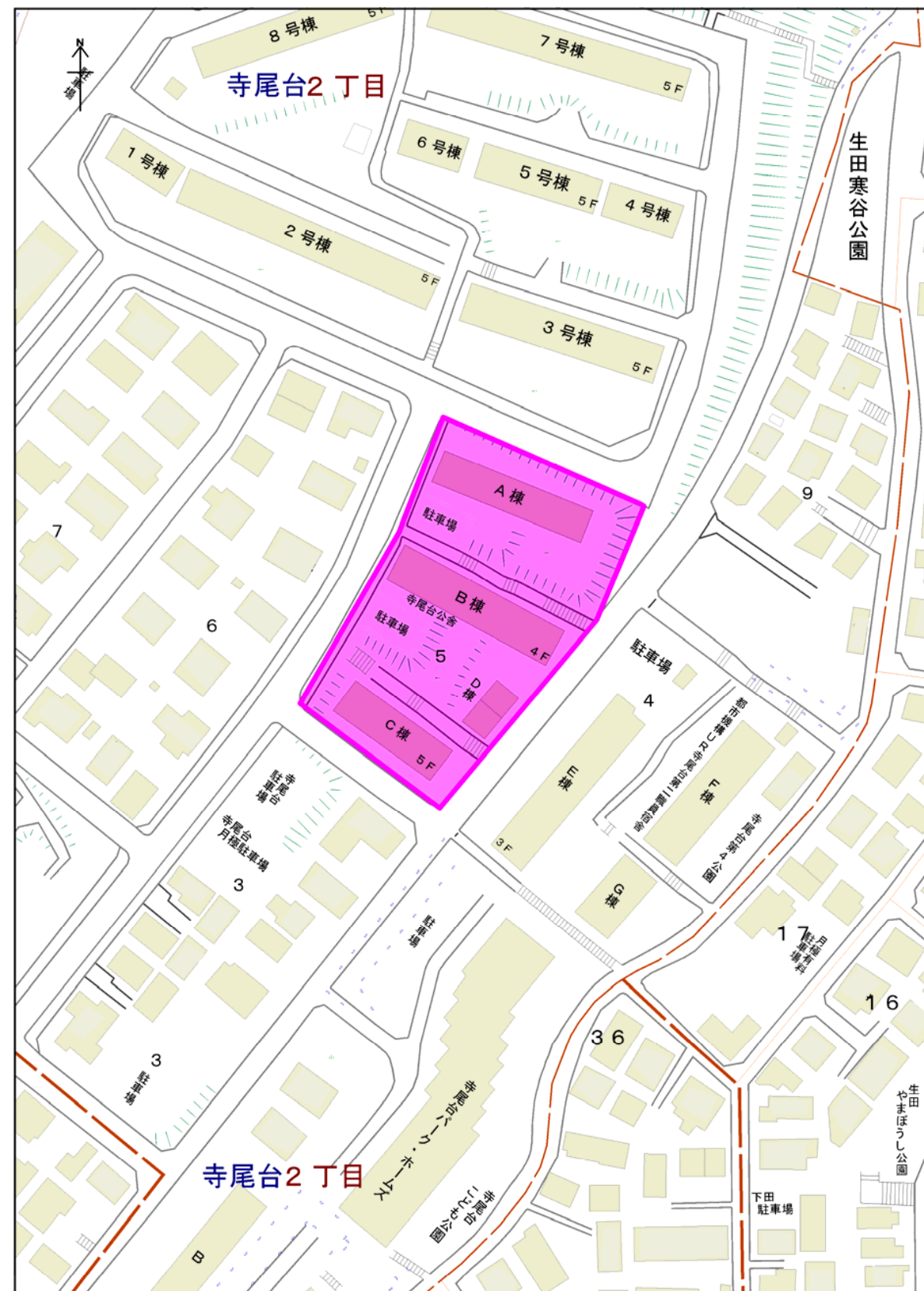
# 参考資料 2

## 1 位置図



200 m  
1:3,877

## 2 配置図



50 m  
1:1,200

## 多摩区内の特別養護老人ホームの整備状況について

多摩区内特別養護老人ホーム一覧

No.	施設名	所在地	定員
1	太陽の園	栗谷 2-16-6	66 人
2	長沢壮寿の里	長沢 2-11-1	53 人
3	多摩川の里	中野島 6-13-5	84 人
4	菅の里	菅北浦 3-10-20	80 人
5	しゅくがわら	宿河原 6-20-19	68 人
6	よみうりランド花ハウス	菅仙谷 4-1-4	150 人
7	花ハウスすみれ館	菅馬場 3-21-1	29 人
8	ヴィラージュ川崎	宿河原 1-18-1	80 人
9	生田広場	西生田 5-24-2	88 人
10	生田まほろば	生田 1-4-17	130 人

